

第1部 基調講演（1）



ふるさとを創る 倉本 聰氏

1935年（昭和10年）生まれ、東京都出身。脚本家。東京大学文学部美学科卒業後、59年ニッポン放送入社。63年に退職後、シナリオ作家として独立、主にテレビドラマを書く。77年北海道富良野市に移住。84年役者とライターを養成する私塾「富良野塾」を創設・主宰。現在はこの卒業生を中心に創作集団「富良野 GROUP」を立ち上げ、舞台公演を中心に活動を行う。93年より、環境問題を考え行動する作家たちのグループ自然文化創造会議（C・C・C）を設立、議長を務める。06年より「C・C・C 富良野自然塾」も主宰し、閉鎖されたゴルフ場に植樹をし、元の森に返す自然返還事業と、そのフィールドを使った環境教育プログラムにも力を入れている。96年世界の芸術貢献者に贈られるモンブラン・デ・ラ・キュルチュール賞、98年オメガアワード、2000年文化・芸術・学術の分野での功績により紫綬褒章、02年向田邦子賞、05年北海道功労賞、2010年には春の叙勲で旭日小綬章を受章。代表作にドラマ『前略、おふくろ様』『北の国から』『優しい時間』『風のガーデン』他、映画『駅-STATION-』等多数。

第2部 基調講演（2）



「地域らしさ」の意義と方法 進士 五十八氏

1944年（昭和19年）生まれ、京都府出身。造園学者、農学者。元東京農業大学学長。現在は、福井県立大学学長、長野県景観審議会会長、NPO 法人美し国づくり協会理事長。これまでに、日本都市計画学会会長、日本造園学会会長や政府観光政策審議会・都市計画中央審議会・道路審議会・河川審議会、内的観光政策審議会などの専門委員、省庁や都道府県・市区町村の委員を多数務める。1984年第5回田村賞、1989年日本造園学会賞を受賞。2007年紫綬褒章受章。2007年第29回日本公園緑地協会北村賞受賞。2015年第9回みどりの学術賞受賞。

第3部 パネルディスカッション

「一人ひとりが今日からできること」

パネリスト



進士 五十八氏

造園学者、農学者。福井県立大学学長、元東京農業大学学長、長野県景観審議会会長、NPO 法人美し国づくり協会理事長。



小倉 善明氏

studio-0 主宰、日本建築家協会元会長、株式会社日建設計元顧問、NPO 法人美し国づくり協会理事。



原田 綾氏

2004～2006年 伊礼智設計室勤務。白馬村在住の二児の母。地元工務店に勤務する建築士でもある。



吉田 久夫氏

白馬村役場総務課長。2016 全日本実年ソフトボール大会長野県代表。

モデレーター



太幡 英亮氏

名古屋大学工学研究科准教授・環境学研究科建築学系。白馬村出身。